

国語科学習指導案

指導者 山本英美代

- 1 日 時 平成17年2月16日(水)5校時
- 2 学年・組 2年1組 38名
- 3 教材名 スーホの白い馬
- 4 研究主題との関連

言葉のイメージを広げ、伝え合う力を育て高める学習指導の在り方
～朗読劇の取り組みを通して、話す力・聞く力を育てる～

<つけたい力>

- (1) 読んで感じたことを友だちに分かるように話すことができる。
- (2) 友だちの話を聞き落とさないように聞き、それぞれの感じたことを話し合う。
- (3) 読むことを楽しむ力を育てる。

5 単元の指導にあたって

(1) 児童観

男子17名・女子21名の学級である。活発な児童が多いが、自分の思いを上手に相手に伝えられなかったり、相手の話を最後まで聞かずに自分の思いだけを一方的に相手に伝えたりすることもある。そのような時には、話し合いの時間をとって、自分や相手の思いをお互いに伝え合い、理解し合えるようにしている。授業中は話を最後まで聞くことができるように、話し手の方を見て、話に耳を傾け、話を心で聞くことを学年目標に掲げ、取り組んでいる。少しずつではあるが、話を聞けるようになってきているように思う。朝の会での日直の話は、どの児童も聞くのを楽しみにしていて、質問コーナーで聞き手が活発に質問をして、話し手は一生懸命答えている。中には声の小さい児童もいるが、それを聞き取ろうとするまわりの姿も見られる。発声練習や詩の朗読、音読カードの活用など取り組む中でしっかりした声を出せる児童が増えている。作文においては、自分の思いを豊かに表現できるように、児童の作文を紹介し、読書を進めている。友だちの作文に対して興味をもって読んだり、聞いたりする子は多い。また、朝の読書や図書の時間などを使って、多くの本にふれるようにしている。さらに、大東市立図書館から本を借りて、学年で回して読んでいる。どの児童も、読書習慣が身に付き、読書量がかなり増えている。

(2) 教材観

教材文「スーホの白い馬」は、スーホと白馬の心の通い合いを美しく描いている物語である。それを引き立たせるための文章表現に注目させて、読み進めさせたい。そして、読み深めたことを生かした音読になるよう、朗読劇の手法を取り入れて、動作を加えたり、物音や様子を声や道具を使ったりしながら表現することにより、より一層登場人物の気持ちに迫れるのではないかと考える。また、聞き手の心に響くように、物語のイメージを膨らませることができるのではないかと考える。

(3) 指導観

これまでの学習の「ふきのとう」や「スイミー」などにおいて、役を決めて音読しようと持ちかけると、張り切って読む姿が見られた。また「お手紙」の学習では、動作化や、音も使って表現した。一年間の学習のまとめとして、「スーホの白い馬」を子どもたちが自力で読み進め、それぞれが感じたことを伝え合い、自分たちの読みに、動作化を取り入れたり、自由に音で様子を表現したりしながら、読むことを楽しむ力を付けさせたい。また、自分たちの読みを、他の学年や友だちに発表することによって、達成感・満足感を味わってほしいと思う。

6 単元の目標

- (1) 「スーホの白い馬」を読んで思ったことを、なぜそう思ったのか理由を付けて、分かりやすく話す。
- (2) 友だちの話を聞き落とさないように、興味をもって聞き、それぞれがどんなことを思ったか話し合う。
- (3) 場面の様子などについて想像を広げながら読む。

7 指導計画 (全16時間)

		場の構成	評価	支援
		児童の活動と意識	指導者の役割	
課題設定	1 学習の全体像をつかみ、めあてを持つ。	2 年生の学習を振り返り、音読でがんばった事や楽しかった事を思い起こし、1年生に音読の楽しさが伝わるような発表をしようと誘いかけ、目的意識を明確にする。 範読に耳を傾けていたかどうか。 ワークシート①を使い、「心に残った場面」「不思議だと思ったこと」「知りたいと思ったこと」などを書くようにさせる。 自分の心に残る場面について、感想を書いていたかどうか。		
	1 年生に「スーホの白い馬」の朗読劇を発表して、読むことの楽しさを伝えよう			
	2 「スーホの白い馬」のお話を聞いて、感想を持つ。			
	スーホは白馬を大切に思っているのだなあ。	白馬はスーホが大好きなのだなあ。		
	殿様はひどい人ようだなあ。	馬頭琴はどんな楽器なのだろう。		

	<p>3 場面分けをして読みのめあてをもつ。</p> <table border="1" data-bbox="304 577 818 862"> <tr> <td data-bbox="304 577 564 712">スーホは白馬のことをどう思っているのかなあ。</td> <td data-bbox="564 577 818 712">白馬はスーホのことをどう思っているのかなあ。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="304 712 564 862">どうしてスーホは馬頭琴を作ったのかなあ。</td> <td data-bbox="564 712 818 862">殿様はどんなひとなのかなあ。</td> </tr> </table>	スーホは白馬のことをどう思っているのかなあ。	白馬はスーホのことをどう思っているのかなあ。	どうしてスーホは馬頭琴を作ったのかなあ。	殿様はどんなひとなのかなあ。	<p>モンゴルの大草原のイメージを広げるため、インターネットや絵本、写真などを示す。</p> <p>馬頭琴がどんな楽器かを知るため、実際に見たり、触れたり、音色を聞いたりさせる。</p> <p>ワークシート²を使い、場面ごとに整理させる。</p> <p>場面の絵を見たりして、あらすじをつかんでいたかどうか。</p> <p>あらすじがつかめたら、グループでどの部分を朗読劇の発表のときの担当にするかを決め、意識を高める。</p>
スーホは白馬のことをどう思っているのかなあ。	白馬はスーホのことをどう思っているのかなあ。					
どうしてスーホは馬頭琴を作ったのかなあ。	殿様はどんなひとなのかなあ。					
課題追求	<p>4 初めから71ページ4行目までを読み深め、スーホは白馬のことをどう思っているのかを読み取り、それを生かした音読の練習をする。</p> <table border="1" data-bbox="304 1059 818 1149"> <tr> <td data-bbox="304 1059 818 1149">スーホは白馬のことをとても大切に思っているなあ。</td> </tr> </table> <p>読み深めたことを話し合ってから、担当の班は発表し、聞き手は感じたことを出し合う。</p> <p>5 71ページ5行目から74ページ6行目までを読み深め、スーホが白馬を大切に思っていることはどこで分かるのか、殿様はどんな人かを読み取り、それを生かした音読の練習をする。</p> <p style="text-align: right;">本時 1/2</p> <table border="1" data-bbox="304 1675 818 1854"> <tr> <td data-bbox="304 1675 564 1854">スーホは白馬を思って殿様にかっこいいなって言い返しているなあ。</td> <td data-bbox="564 1675 818 1854">殿様はわがままで自分勝手だなあ。</td> </tr> </table> <p>読み深めたことを話し合ってから、担当の班は発表し、聞き手は感じたことを出し合う。</p>	スーホは白馬のことをとても大切に思っているなあ。	スーホは白馬を思って殿様にかっこいいなって言い返しているなあ。	殿様はわがままで自分勝手だなあ。	<p>ワークシート³~⁵を使い、めあてに沿ってグループや一人で学習を進めさせる。</p> <p>大きな声でゆっくり分かるように話せていたか。</p> <p>読み取ったことを生かして音読ができていたか。</p> <p>友だちの発表をしっかりと聞くことができていたか。</p> <p>よかったところや、頑張ったところを伝えて、朗読発表会に生かす。</p> <p style="text-align: center;">(第13時まで同様)</p> <p>ワークシート⁶を使い、めあてに沿ってグループや一人で学習を進めさせる。</p>	
スーホは白馬のことをとても大切に思っているなあ。						
スーホは白馬を思って殿様にかっこいいなって言い返しているなあ。	殿様はわがままで自分勝手だなあ。					

	<p>6 74ページ7行目から77ページ11行目までを読み深め、殿様は白馬をどうしようとしたのか、白馬がスーホのことが大好きだというのはどこで分かるのかを読み取り、それを生かした音読の練習をする。</p> <table border="1" data-bbox="312 488 818 707"> <tr> <td data-bbox="312 488 564 707"> <p>殿様は白馬が逃げ出したから撃ち殺そうとしたのだなあ。</p> </td> <td data-bbox="564 488 818 707"> <p>白馬はひどい傷を受けながらもスーホのところに帰ってきたのだなあ。</p> </td> </tr> </table> <p>読み深めたことを話し合ってから、担当の班は発表し、聞き手は感じたことを出し合う。</p> <p>7 77ページ12行目から終わりまでを読み進め、どうしてスーホは馬頭琴を作ったのかを読み取り、それを生かした音読の練習をする。</p> <table border="1" data-bbox="312 1014 818 1149"> <tr> <td data-bbox="312 1014 818 1149"> <p>馬頭琴はスーホにとって白馬の代わりで、スーホは白馬といつも一緒にいられるのだなあ。</p> </td> </tr> </table> <p>読み深めたことを話し合ってから、担当の班は発表し、聞き手は感じたことを出し合う。</p>	<p>殿様は白馬が逃げ出したから撃ち殺そうとしたのだなあ。</p>	<p>白馬はひどい傷を受けながらもスーホのところに帰ってきたのだなあ。</p>	<p>馬頭琴はスーホにとって白馬の代わりで、スーホは白馬といつも一緒にいられるのだなあ。</p>	<p>ワークシート7~8を使い、めあてに沿ってグループや一人で学習を進めさせる。</p> <p>ワークシート9を使い、めあてに沿ってグループや一人で学習を進めさせる。</p>		
<p>殿様は白馬が逃げ出したから撃ち殺そうとしたのだなあ。</p>	<p>白馬はひどい傷を受けながらもスーホのところに帰ってきたのだなあ。</p>						
<p>馬頭琴はスーホにとって白馬の代わりで、スーホは白馬といつも一緒にいられるのだなあ。</p>							
<p>交流・振り返り</p>	<p>8 朗読劇の発表会の準備をする。</p> <table border="1" data-bbox="312 1323 818 1458"> <tr> <td data-bbox="312 1323 818 1458"> <p>発表会の係を決めよう。 友だちに出してもらったアドバイスを生かして、最後の練習をしよう。</p> </td> </tr> </table> <p>9 1年生に朗読劇を聞いてもらい、交流をする。</p> <table border="1" data-bbox="312 1547 818 1720"> <tr> <td data-bbox="312 1547 564 1720"> <p>1年生にスーホと白い馬の心の通い合いが伝わったかなあ。</p> </td> <td data-bbox="564 1547 818 1720"> <p>1年生に読むことの楽しさが伝わったかなあ。</p> </td> </tr> </table> <p>10 今までの活動を振り返り、感想を持ち、民話の音読に取り組む。</p> <table border="1" data-bbox="312 1809 818 1944"> <tr> <td data-bbox="312 1809 564 1944"> <p>音読や朗読で、声を出すのは楽しいなあ。</p> </td> <td data-bbox="564 1809 818 1944"> <p>これからもいろんな民話を読んでいきたいなあ。</p> </td> </tr> </table>	<p>発表会の係を決めよう。 友だちに出してもらったアドバイスを生かして、最後の練習をしよう。</p>	<p>1年生にスーホと白い馬の心の通い合いが伝わったかなあ。</p>	<p>1年生に読むことの楽しさが伝わったかなあ。</p>	<p>音読や朗読で、声を出すのは楽しいなあ。</p>	<p>これからもいろんな民話を読んでいきたいなあ。</p>	<p>前時に出してもらったアドバイスを思い出させ、音読の練習を深めさせる。 司会者や始めの言葉・終わりの言葉を言う係などの担当を決めさせる。 感想を、よかったカードに書いてもらう。</p> <p>活動への関心・意欲を評価し、民話の音読に生かせるようにする。 音読カードを活用し、いろんな民話の音読をする。</p>
<p>発表会の係を決めよう。 友だちに出してもらったアドバイスを生かして、最後の練習をしよう。</p>							
<p>1年生にスーホと白い馬の心の通い合いが伝わったかなあ。</p>	<p>1年生に読むことの楽しさが伝わったかなあ。</p>						
<p>音読や朗読で、声を出すのは楽しいなあ。</p>	<p>これからもいろんな民話を読んでいきたいなあ。</p>						

8 本時の学習

(1) 目標

読み取った殿様の横暴さや、スーホの白馬に対する思いの強さを発表し、それを生かした音読ができる。

読むことを楽しむ力を付ける。

友だちの発表を聞き、よかったところを見つけることができる。

(2) 展開

場の構成 評価 支援

	児童の活動と意識	指導者の役割
課題設定	<p>71ページ5行目から74ページ6行目までを読み、本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>場面を読んで感じたことや、思ったことを読みのめあてに沿って、みんなに分かるように話そう。</p> <p>読み取ったことを音読に生かそう。</p> </div> <p>今日の流れを伝える。</p>	<p>本時の学習場面を確認し、座席順に段落読みを行う。</p> <p>前時に、一人読みやグループ読みをしたことを発表し、それを生かして音読をするように伝える。</p>
課題追求	<p>読み取ったことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 殿様の横暴さ ・ スーホの白馬に対する思いの強さ <p>読み取ったことを生かして音読する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 声の大きさや間の取り方 ・ 役割分担による音読表現 登場人物・ナレーター(語り)・物音や様子の表現 ・ 表情や動作 	<p>○ 発表者が落ち着いて発表できる雰囲気に関心を配る。</p> <p>大きな声でゆっくり分かるように話せていたか。</p> <p>読み取ったことを音読に工夫することができていたか。</p> <p>友だちの発表をしっかりと聞くことができていたか。</p>
交流・振り返り	<p>発表のよかったところを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 声の大きさや間の取り方に気を付けたか。 ・ 効果的な役割分担ができたか。 ・ 場にあった表情や動作ができたか。 <p>学習の感想を話し合う。</p>	<p>感想を、よかったカードに書くようにする。</p> <p>よかったところや、頑張ったところ、もっと工夫したらいいところが分かり、それを朗読発表会に生かすように伝える。</p> <p>活動への関心・意欲を評価し、次時に生かす。</p>